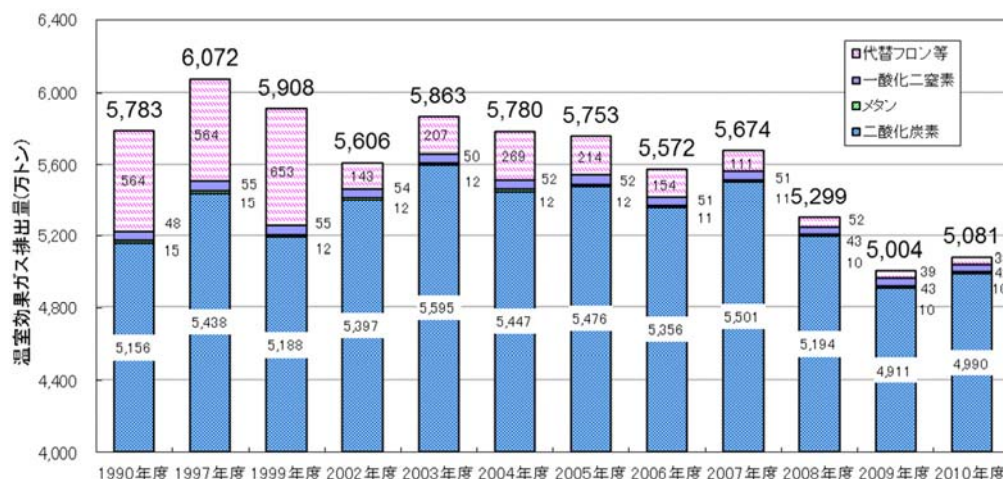


序章 おおさかの環境の状況

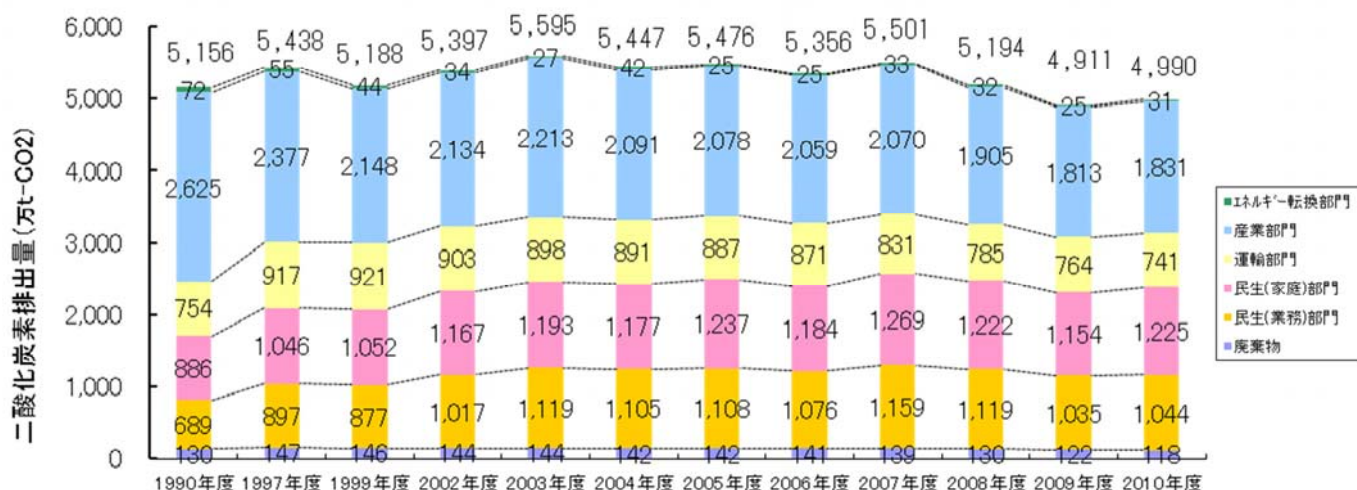
1 低炭素・省エネルギー関係

○温室効果ガスの排出量については、2010年度は5,081万トンであり、基準年度（1990年度）の5,783万トンと比べ、12.1%減少しています。



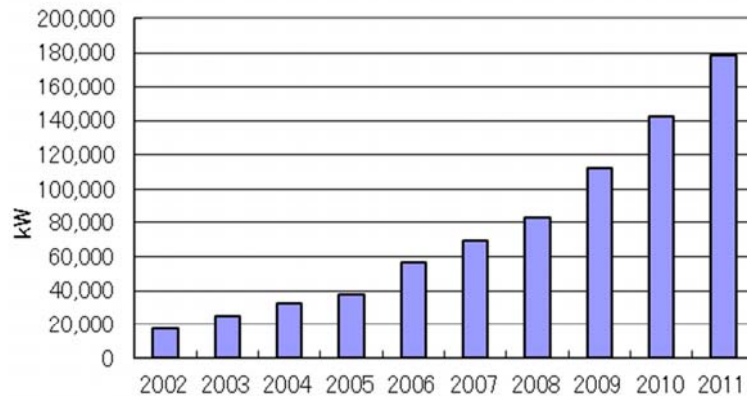
府内における温室効果ガス排出量の推移

○二酸化炭素の排出量については、2010年度は4,990万トンであり、基準年度（1990年度）の5,156万トンと比べ、3.2%減少しています。基準年度と比較すると、産業部門やエネルギー転換部門は減少していますが、民生（業務）及び民生（家庭）部門は増加しています。



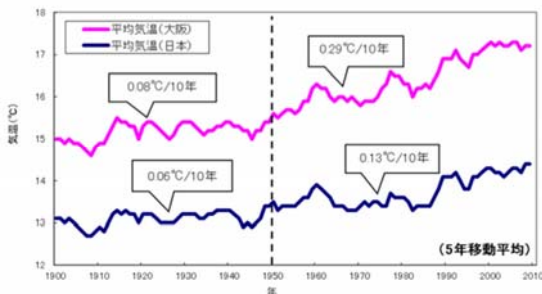
府内における二酸化炭素排出量の推移

○太陽光発電設備の導入状況については、2011年度は178,583kWであり、2010年度の142,672kWと比較し、25.2%増加しています。

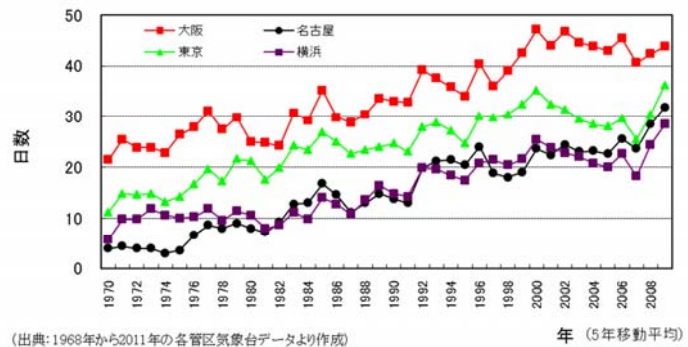


府内における太陽光発電設備の導入状況の推移

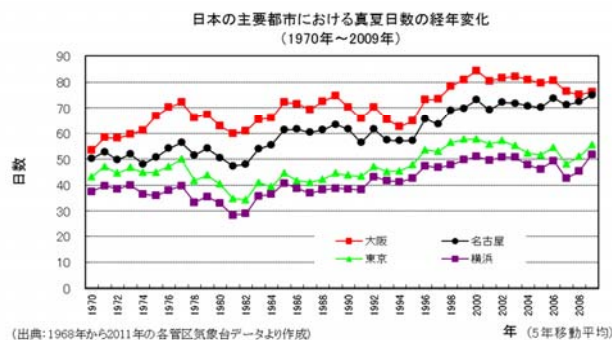
○年平均気温は、全国の年平均気温を上回る状況で推移しています。熱帯夜数については、近年40日を越えているが、横ばい傾向にあります。真夏日数については、近年80日を下回っているが、横ばい傾向にあります。



大阪・全国における年平均気温の推移



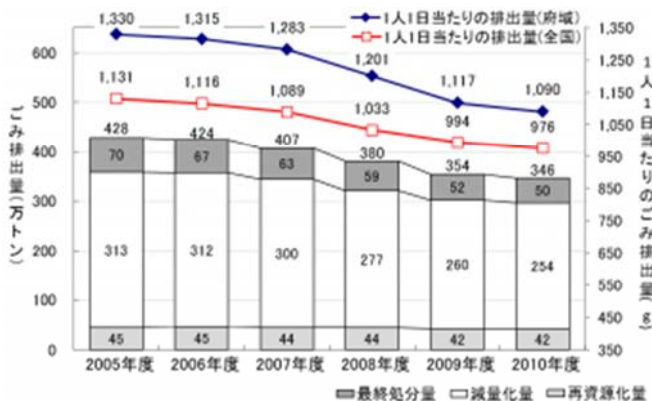
大都市における熱帯夜数



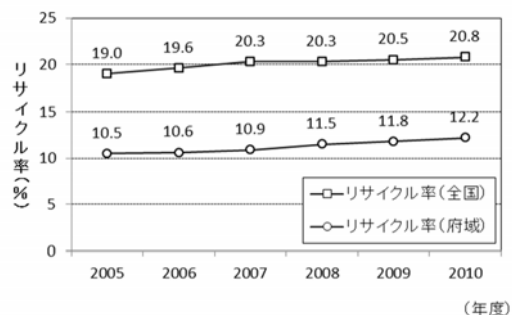
大都市における真夏日数

2 循環型社会関係

○一般廃棄物については、2010年度の1人1日あたりの排出量は全国平均を上回っていますが、2005年度と比べ18%と全国を上回るペースで減少しています。リサイクル率は全国平均を下回っていますが、増加傾向にあります。

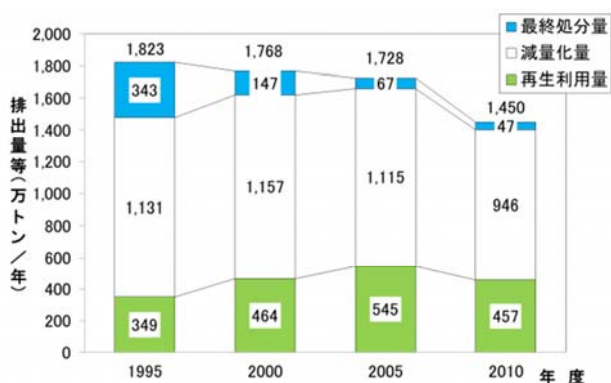


一般廃棄物排出量の推移

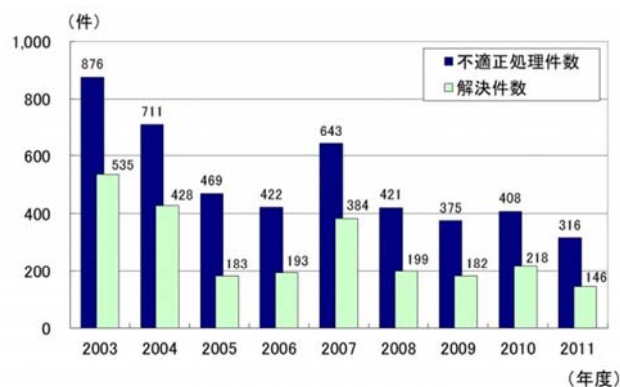


リサイクル率の推移

○産業廃棄物については、2010年度の最終処分量は47万トンであり、2005年度と比べ30%減少しています。また、不法投棄などの不適正処理の件数は減少傾向にあります。依然として多発しています。



産業廃棄物の排出量と再生利用量等の推移



産業廃棄物の不適正処理件数

3 大気環境関係

一般環境大気測定局は 69 局、自動車排出ガス測定局は 36 局で大気調査を行いました。

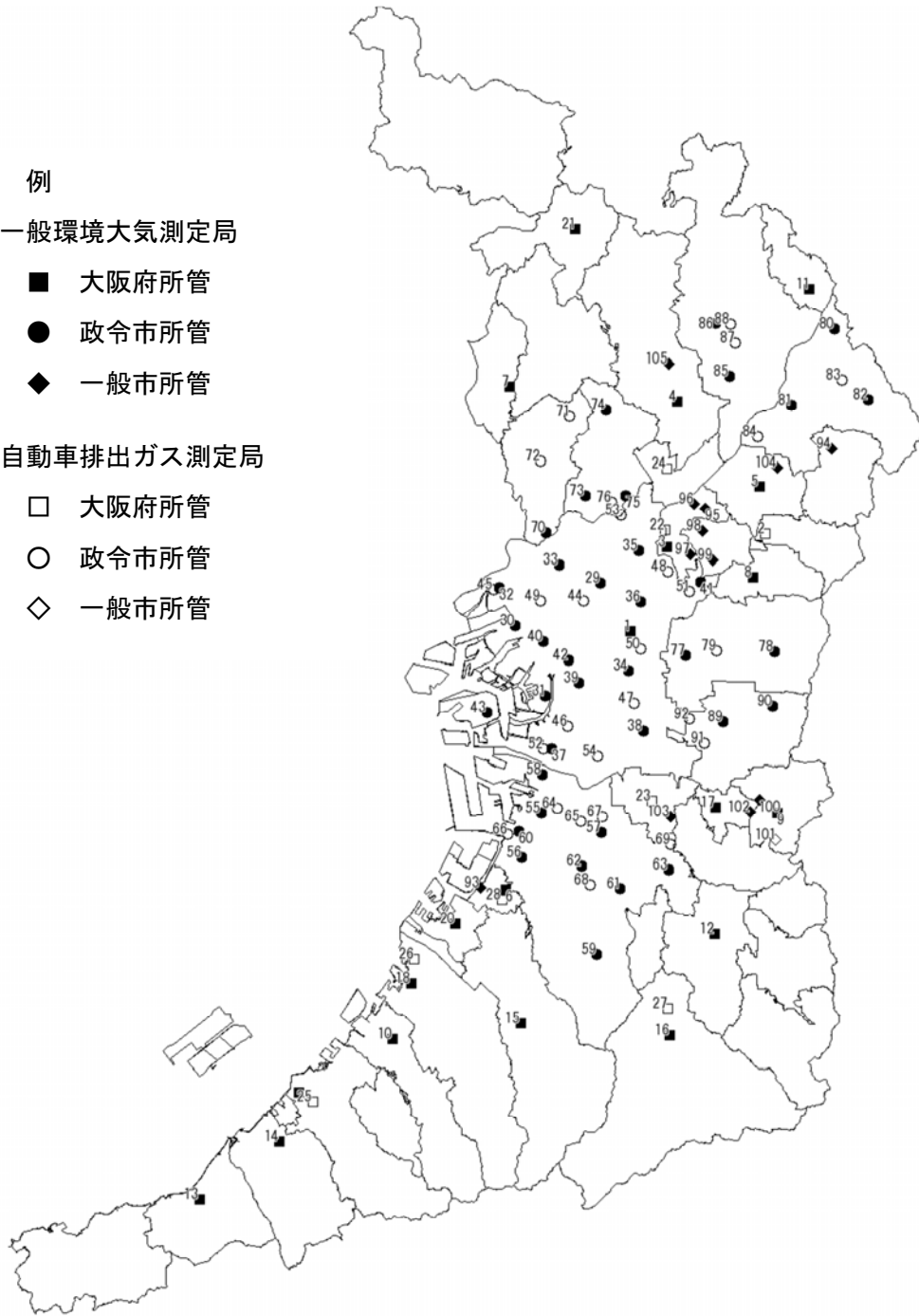
凡 例

一般環境大気測定局

- 大阪府所管
- 政令市所管
- ◆ 一般市所管

自動車排出ガス測定局

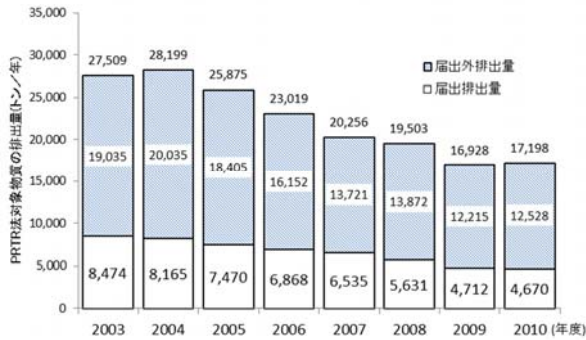
- 大阪府所管
- 政令市所管
- ◇ 一般市所管



大気の常時監視地点図

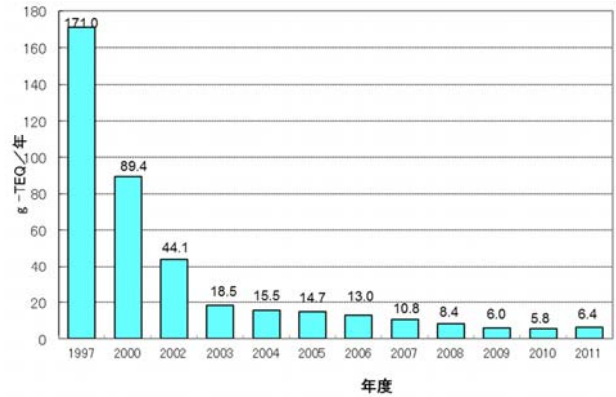
5 化学物質関係

○ダイオキシン類の排出量は減少しており、化学物質の排出量は概ね減少傾向にあります。



府内における化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 対象物質の排出量の推移

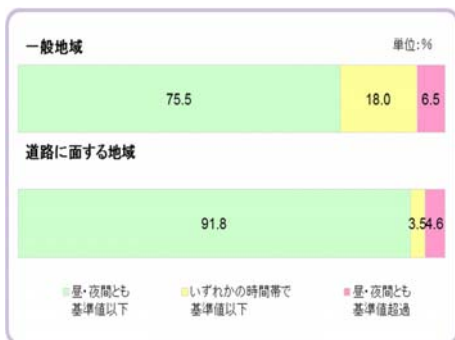
(※2010年度より届出対象物質数が354から462に変更されました)



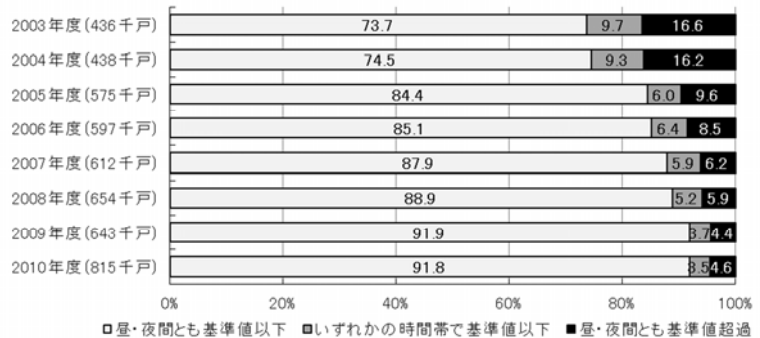
府内でのダイオキシン類の排出量の推移

6 騒音関係

○道路沿道における騒音に係る環境保全目標の達成率は上昇傾向にあり、2010年度に昼・夜間ともに基準値以下は91.8%でした。



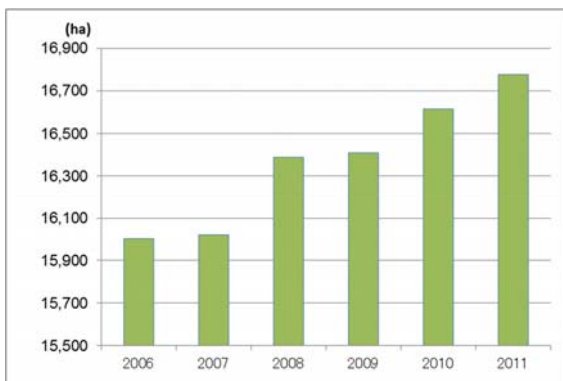
騒音に係る環境保全目標達成状況



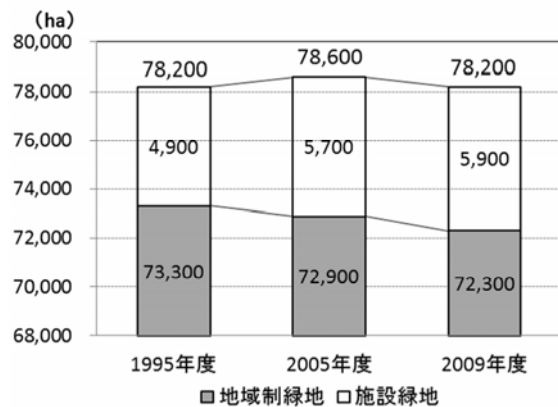
道路に面する地域に係る環境保全目標達成率の推移

7 自然環境

○保安林については、新たに159ha指定しました。緑地面積は、府域の約4割を維持しています。



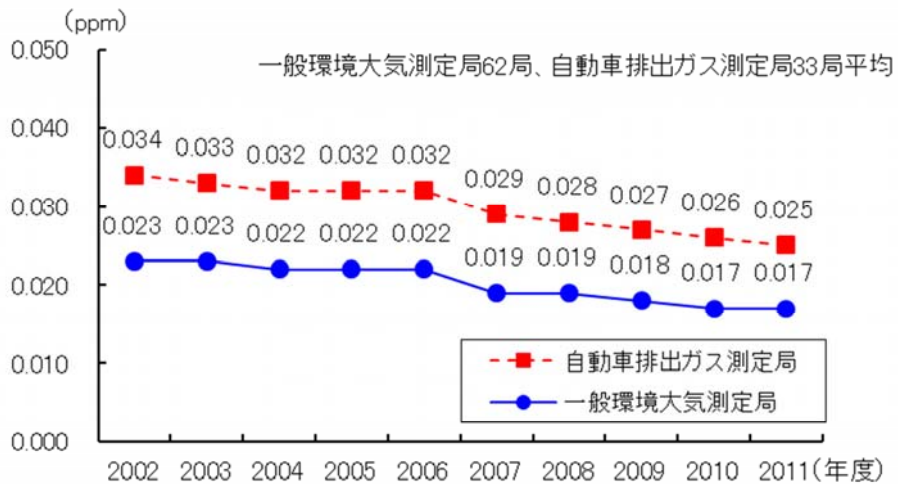
府域の保安林の指定面積の推移



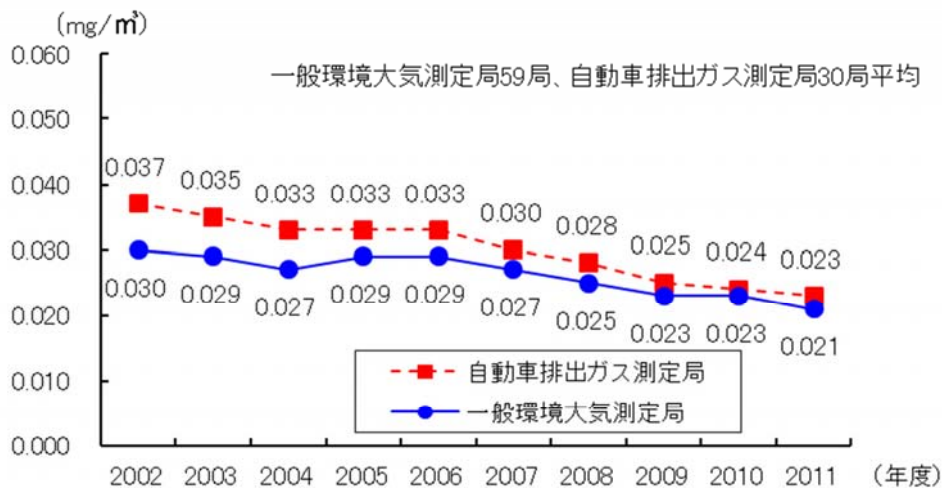
府域の緑地面積の推移

○大気の状態については、二酸化窒素濃度、浮遊粒子状物質濃度ともに改善傾向にあり、2011 年度は光化学オキシダント、浮遊粒子状物質※、微小粒子状物質を除き、環境保全目標を達成しています。

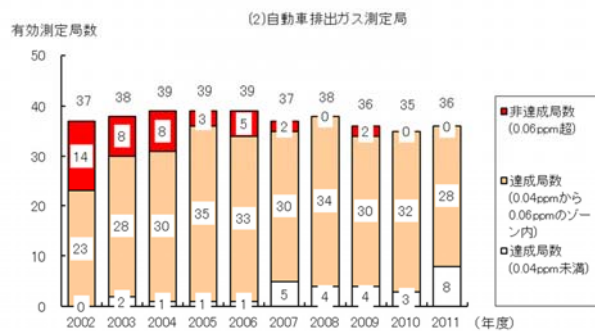
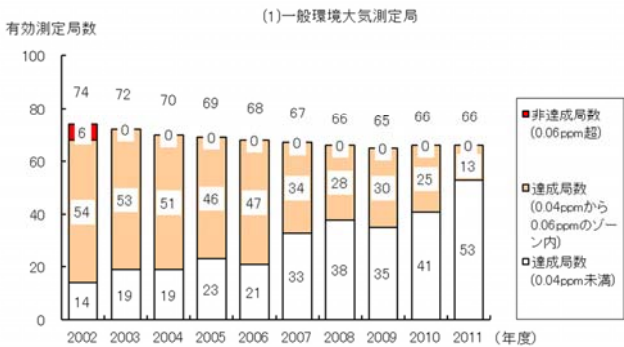
(※2011 年5月2日及び3日の2日間に大阪を含む広い地域で黄砂が観測され、2日連続で基準値を超えたため。)



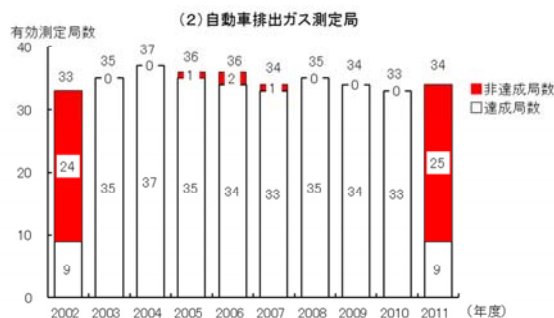
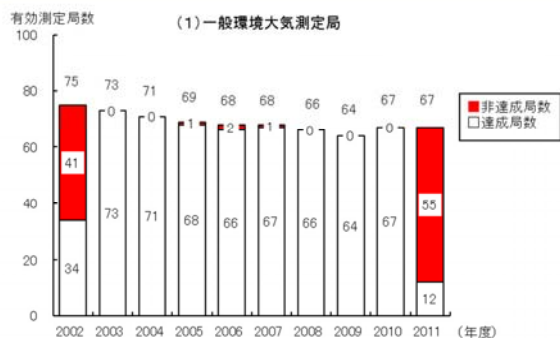
二酸化窒素濃度 (年平均値) の推移



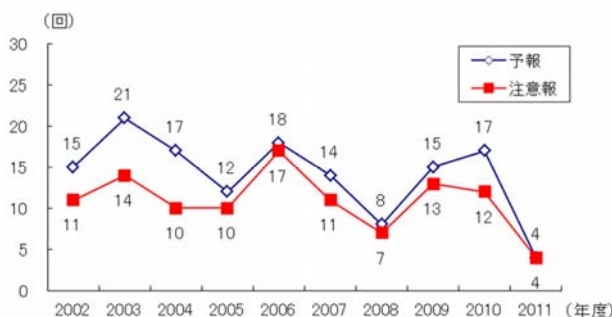
浮遊粒子状物質 (年平均値) の推移



二酸化窒素の環境保全目標達成局数の推移



浮遊粒子状物質の環境保全目標達成局数の推移



光化学スモッグ発令回数の推移

○2011 年度から測定を開始した PM2.5 については、7 局中 1 局で達成しました。

PM2.5 の環境保全目標達成状況 (2011 年度)

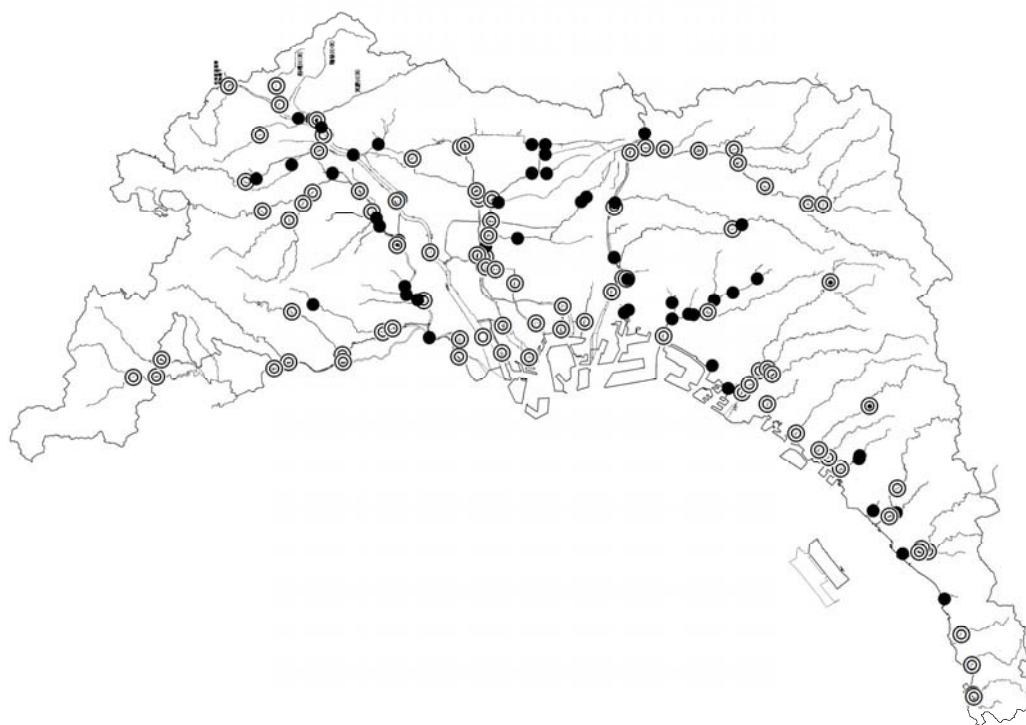
局区分	所在市	測定局名	年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値の年間 98%値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	環境基準 達成状況
一般局	大阪市	聖賢小学校	17.0	38.9	×
一般局	堺市	浜寺	15.1	39.3	×
一般局	堺市	三宝	18.7	42.7	×
自排局	大阪市	出来島小学校	18.4	41.3	×
自排局	大阪市	新森小路小学校	19.1	42.3	×
自排局	堺市	美原丹上	18.1	42.7	×
自排局	吹田市	吹田簡易裁判所	14.9	34.0	○
一般局	大阪市	国設大阪 (※)	18.3	40.3	—
自排局	四條畷市	国設四條畷 (※)	14.7	32.6	—
自排局	泉佐野市	末広公園 (※)	18.5	41.1	—

※ 「国設大阪」「国設四條畷」「末広公園」局については、測定方法が環境省の認定基準を満たさないため、環境基準達成状況は評価せず参考値として掲載します。

※ 一般局とは、一般環境大気測定局であり、自排局とは自動車排出ガス測定局である。

4 水環境関係

河川については 105 河川 144 地点、海域については 22 地点で水質調査を行いました。

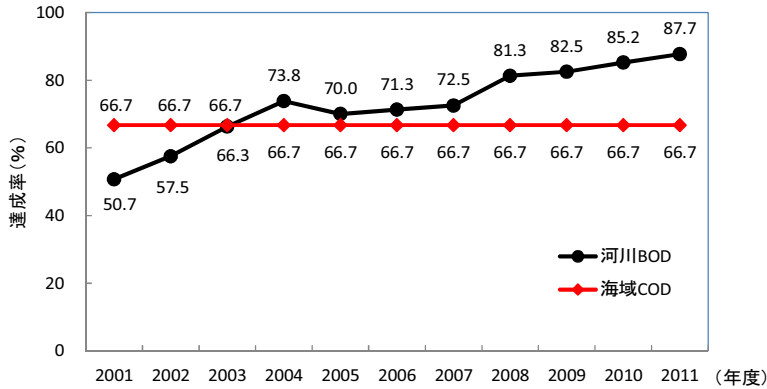


河川及び海域の常時監視地点図

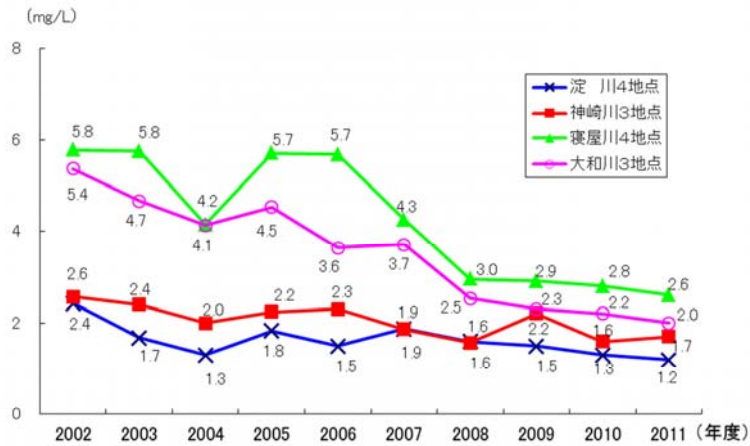
◎：環境基準点 ●：準基準点
※ただし、+は兵庫県の環境基準点 (COD)

○河川の水質は概ね改善傾向にあり、2011年度におけるBODの環境保全目標達成状況については87.7%となりましたが、海域の水質については横ばいの傾向であり、2011年度におけるCODの環境保全目標達成状況については66.7%※でした。

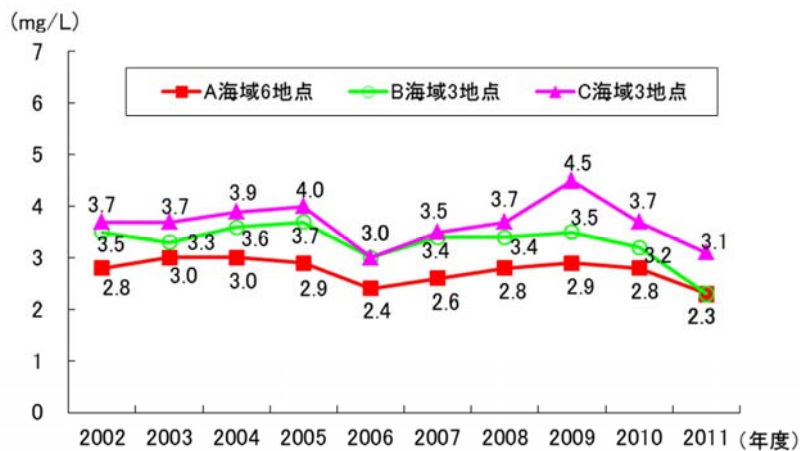
※兵庫県の測定地点を含め水域ごとに評価



河川のBOD及び海域のCODの環境保全目標達成率の推移



府内主要河川のBOD（年平均値）の推移



大阪湾のCOD（表層年平均値）の推移

8 立入検査等実施件数

○2011年度の法令に基づき府が実施した立入検査・指導等の件数は以下のとおりです。

大気（法規制事業場：1,121 条例規制事業場：1,807）		
一般大気	工場・事業場への立入り件数	1,415 件
	施設設置や変更時の届出書類件数	1,316 件
	サンプル採取・分析件数	90 件
アスベスト	解体現場の立入り検査実施件数	203 件
水質（法規制事業場：1,601 条例規制事業場：104）		
	工場・事業場への立入り件数	990 件
	施設設置や変更時の届出書類件数	516 件
	サンプル採取・分析件数	579 件
交通環境		
	流入車規制のステッカー交付枚数	8.3 万枚 累計約 104.0 万枚
	立入検査及び指導件数	48 回 約 4,500 台
土壌汚染		
	法・条例・自主調査指針に基づく調査報告件数	22 件
	土地の形質変更届出件数	77 件
化学物質		
	法・条例に基づく排出量等の届出件数	1,681 件
	条例に基づく管理計画及び管理目標の届出件数	444 件
廃棄物・リサイクル		
	産業廃棄物排出事業者等に対する立入検査件数	1,695 件
	産業廃棄物排出事業者からの報告徴収件数	16,575 件
	産業廃棄物処理業者等に対する立入検査件数	858 件
	自動車リサイクル法に基づく登録・許可業者への立入検査件数	223 件
	フロン回収・破壊法に基づく登録業者への立入検査件数	52 件

9 その他

○2010 年度に受け付けた苦情件数については、前年度に比べて 3.6%増加し、最も多い苦情は騒音に関するもので苦情全体の 39.7%を占めています。2011 年度の環境情報プラザの利用者数は、2003 年度に比べて倍増しています。

